

第4号

2012年12月20日
(平成24年12月20日)

ソムリエの風

奈良まほろばソムリエ友の会会報紙

発行
奈良まほろばソムリエ友の会
ソムリエ広報部会

〒630-8333 奈良市中新屋町
23番地 中江ビル 302号室
あすなる行政書士事務所内

特定非営利活動法人発足へ

特定非営利活動法人「奈良まほろばソムリエの会」発足に寄せて

「奈良まほろばソムリエ友の会」は、このほど総会を開き、会員の総意で特定非営利活動法人（NPO 法人）「奈良まほろばソムリエの会」設立を決議しました。来春には奈良県知事からの認証を受けて、特定非営利活動法人「奈良まほろばソムリエの会」がスタートします。

これまでの経緯を振り返りますと、平成23年4月にソムリエの集まりである「奈良まほろばソムリエ友の会」が設立されました。

この会では、ソムリエの交流と研鑽を図る活動を始めるとともに、ソムリエならではの知識を生かした史跡案内や地域での講習会などのボランティア活動も行ってきました。

これらの活動は、一般市民を対象とするため、常に社会的責任を伴うとともに、活動組織は、法人団体であることが望ましいとされます。このようなことから、昨年末にNPO法人設立検討委員会を立ち上げ、会員をはじめ多くの方々から意見を頂き、設立の準備を進めました。

平成24年11月18日の設立総会で、特定非営利活動法人「奈良まほろばソムリエの会」の設立が決議されました。新たに門出をするこの会は、これまでの事業を継承するとともに、新たな社会貢献活動として、奈良の歴史・文化・観光に関連する調査・研究・啓発を行い、また社寺や史跡などの保存・美化活動や、地域の伝統行事の継承を支援し、さらには奈良を訪れる人々に対し、史跡や社寺などの案内、地域における歴

史講座や講演会等を開催します。



特定非営利活動法人「奈良まほろばソムリエの会」設立総会

このような多彩な活動事業に、多くの期待が寄せられており、私たちソムリエをはじめ奈良を愛する者は、これらの活動を通じ、奈良の歴史・文化・観光の振興を図ることに邁進したいと考えます。

(奈良まほろばソムリエ友の会
会長 小北 博孝)



ソムリエサポート部会

公民館講師活動始まる

11月17日、サポート部会の公民館活動の一環として、「ソムリエと学ぶ奈良の歴史」をテーマに近鉄学園前駅南の西部公民館で講座を開き、講師の鈴木浩さんとともに参加して雰囲気を感じました。奈良市の広報紙で聴講者を募集したところ、35名の応募がありました。

午後6時半から始まった講座は、

第1回目ということもあり、最初から真剣勝負の雰囲気。奈良の歴史をテーマに「奈良検定2級」の過去問を使って学習・解説を行いました。聴講者の大半が40歳以上の人で、熱心そのもの。講師の説明に一層詳しい解説を求める人もあり、2時間がアツという間に終了しました。

このような会を広げ、参加者に喜んで頂きたいものです。

講師役を募集しています。ご応募ください。
(深尾 正)



講師練習中の青木章二さん

ガイドグループの活動

10月より、自主企画の「まほろばソムリエと巡る大和路」ツアーの本格活動を開始し、11月末までに16組・約100名のお客様をガイドしました。ソムリエならではの視点からご案内し、お客様か

ら大変喜ばれました。

12月～2月は、今までの活動のレビューと来年度の活動計画作り、そしてガイド内容・技術の向上を目指して研修を行います。また、来年3月からのツアーに向けて、新コースの開発に着手しまし

た。吉野・斑鳩・當麻など5コースを開発し、これまでのコースと合わせて8コースを提供します。

今後は、NPO 法人として、組織運営を強化し、ガイド活動の着実な推進を図りたいと思います。

(安井 永)

ソムリエ交流部会

交流部会 2年を経過して

振り返れば、昨年4月に「奈良まほろばソムリエ友の会」が発足し、2年目も早や半ばを過ぎました。発足当初より、交流部会・広報部会・サポート部会を立ち上げ、交流部会では、会員相互の親睦と更なる知識の向上を目指した勉強会を開催し、広報部会では、ホームページの運営管理と会報紙の発行を行い、サポート部会では、ガイドの育成とシステム作りを実施しました。各部会とも手探りのスタートだったと思います。

交流部会は、東條部会長(初代)のもとに、何度も会議を重ね、歴史地理、社寺探訪、奈良再発見の3サークルは、昨年10月から活動を開始しました。

歴史地理サークルは、行く機会の少ない竜王山古墳群を訪れ、今井町では茶の道から繋がる大和の歴史秘話を伺いました。社寺探訪サークルは、法隆寺長老高田氏の講話を聴き、斑鳩の里を散策しました。奈良再発見サークルは、エッセイスト中田紀子氏から、新聞に連載された「女たちの守る寺」のよもやま話を伺い、その寺々を訪ねました。

今年4月からスタートした記紀万葉サークルでは、室内での勉強会と、現地見学会を組み合わせるなど新しい企画を始めました。さらに、関東サークルの活動も伝わってくるなど、5サークルが揃い、各サークルそれぞれが、趣向を凝らした企画で進めてまいりました。



記紀万葉サークル
段ノ塚古墳(舒明天皇陵)

これらの活動は、企画に参画された会員相互の協力や、訪問先でお世話になった方々との出会い、ふれあいがあってこそ達成できたと感謝しております。

中でも、3月に訪問した今井町では、小雨の中、参加者数を超える町並み保存会の皆さま方の出迎えを受け、温かいおもてなしを頂きました。



今井まちなみ交流センター
華薨での「おもてなし」

来年早々には、NPO 法人「奈良まほろばソムリエの会」として生まれ変わります。今までに受けた「おもてなし」の心を大切に、奈良の歴史・文化・観光の啓発と普及に貢献できるソムリエならではのウォーキング、イベント企画、またボランティア活動でありたいと考えております。

“いつまでも Wonder & Wander - 思わぬ出会い - を求めて、「おもてなし」の心を忘れずに”

(歴史地理サークルリーダー
豊田 敏雄)



石光寺・寒牡丹

事務局からのお知らせ

対外活動を積極的に展開中

友の会は NPO 化に向け、大きな一歩を踏み出しました。NPO 化の契機となったのが、会員による積極的な対外活動です。当会では部会の事業のほか、さまざまな取り組みを行っています。

産経新聞「なら再発見」

会員から公募した 13 人の書き手が交代で毎週土曜日、産経新聞奈良版に連載記事を執筆しています。

県下の「地域」とそこにある「モノ」にフォーカスして紹介する取材レポートで「この地にこんなすごいものがあるとは驚きだ」と、大好評いただいています。



奈良交通のバスツアー

会員がコースを組み、講師役(ガイド)も務める「奈良まほろばソムリエと行く」シリーズのツアーを実施しています。これまで、「『古事記』を巡るバスツアー」(6 コース)、「深イイ奈良旅」(3 コース)を企画し、来年 4 月からは犬養節を朗詠しながら万葉の地を巡る 12 コースのツアーを実施します。



自主勉強会

毎月 1~2 回、希望者による自主勉強会を開催しています。



12 月までは「大和の古社」、来年 1 月からは『万葉集』をテーマとした勉強会を予定しています。

テレビ・FM、公開講座 …

最近ではテレビ (NHK、奈良テレビ) や地元 FM ラジオへの出演、近鉄などが主催する公開講座への講師派遣、観光サイトへの出稿など活動の幅を広げています。



ほかにも大阪や東京の旅行エージェントからのガイド依頼や各種原稿の執筆依頼、地域のまちづくり団体からのツアー組成の相談など、当会にはさまざまなリクエストが寄せられています。私たちソムリエがめざすのは「奈良の文化・観光の振興」です。この目的を達成するため、これからも積極的に対外活動に取り組んでまいります。

(事務局長 鉄田 憲男)

私のベスト3・仏像編

皆さんから投票いただいた結果です。ご協力ありがとうございました。納得? それとも意外?

順位	仏像	おすすめポイント、感想等
1 位	聖林寺 十一面観音菩薩立像	<ul style="list-style-type: none"> 胸の力強さ、締まったウエスト等の造形、数奇な運命、まさかこんなところにこんなものという驚き。 天平彫刻の代表。気品良く、美しい。全体のお姿が美しく、心落ち着く。
2 位	薬師寺東院堂 聖観音菩薩立像	<ul style="list-style-type: none"> 肉感的でありながら美しい。 バランスのよい頭体、美しい裾の衣文。 後ろから見た像形も素晴らしい。
3 位	東大寺戒壇院 広目天像	<ul style="list-style-type: none"> 空気が凍てついたような緊張感を感じます。 遠く彼方をみつめておられる目に、とても魅かれる。

4 位以下は、「興福寺 阿修羅像」「中宮寺 菩薩半跏像 (伝如意輪観音像)」「金峯山寺 本尊金剛蔵王大権現像」「興福寺 天燈鬼・龍燈鬼立像」と、まだまだ続きます。奈良には、すばらしい仏像が多いですね。

私のおすすめレアスポット

法隆寺五重塔の魔除けの鎌

法隆寺の七不思議の一つに、五重塔の鎌があります。確かに相輪の下部に、魔除けの鎌といって東西南北の四方に刃先を向けて据えられているのが見えます。

この鎌は1300年前の創建当時から300年に一度掛け替えられてきたものだそうです。現在の鎌は、昭和9年からの昭和修理で、昭和27年に掛け替えられたものです。

この鎌を近くでじっくり見たいといっても、五重塔に上ることはできません。大阪府堺市まで足をのばしてみてください。日本刀

や庖丁を製造販売する工房「水野鍛錬所」（堺市堺区桜之町西1-1-27）を訪ねると、店頭で大鎌の実物を見せてもらえます。大修理に小鍛冶として抜擢された二代目水野正範氏が奉納した鎌です。影打ちといって、注文があると同じものを倍の数作って良いものを納めるそうで、手元に残ったうちの1本が店頭にあるものです。

鎌と同様、1300年前の古釘を鍛えなおして納めた、五重塔の心柱をつなぐ大釘の実物もあります。伝説の宮大工・西岡常一さんが

復元した古代の大工道具・槍鉋（やりがんな）などもこの工房で作ったもので、図示した注文書が掲示されています。（石田 一雄）



大鎌を持つ水野鍛錬所の五代目淳さん

<編集後記>

今回は、「私のおすすめレアスポット」「私のベスト3」と題して、広報部会の企画記事を掲載してみました。いかがでしたでしょうか。次号以降も皆さまに楽しんでいただけるように、いろいろ考えていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。「私のおすすめレアスポット」については、募集を継続しております。原稿、その他ご意見、ご要望があれば、下記のあて先までご連絡ください。

編集に当たったソムリエ広報部会員は以下のとおりです。（あいうえお順）

加藤・窪田・小林（誠）・雑賀・沢田・辰馬・鉄田・永井・中村・橋口・廣岡・二上・古川・松森・宮下

奈良まほろばソムリエ友の会



事務局所在地：〒630-8333 奈良市中新屋町23番地 中江ビル302号室
（住所変わりました） あすなろ行政書士事務所内

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記（ブログ）：<http://nara-stomo.seesaa.net/>

観光関連の方へ

奈良の観光案内には
奈良の今を伝える、観光サイト



<http://www.ima-nara.jp/>
をご活用ください！

奈良まほろばソムリエ友の会
会員様も「豆知識」コラム執筆中！

Facebookをお使いの方へ

奈良のイベント情報は
「奈良へ行こう! Let's Visit Nara」
<https://www.facebook.com/visit.nara>
をご覧ください。



ぜひ いいね! を
押してください！

すでに6000人以上のFANがいる
人気 Facebook ページです！

企業の方へ

募集中

奈良を訪問中&
奈良が好きなお客に向けて、
ダイレクトに広告しませんか。

お試し総合パック(1ヶ月)
通常 ~~60,000円~~ → 20,000円
・「今奈良.jp」全ページでの紹介
※バナー制作費用込です
・Facebook ページでの紹介
※最低2000人に必ずお届けします

広告掲載の詳細お問い合わせ先は



株式会社ワイズスタッフ
<http://www.ysstaff.co.jp/>

〒630-0244
奈良県生駒市東松ヶ丘2-1-202 (担当:藤本)
TEL 0743-74-2012 FAX 0743-74-2013

株式会社ワイズスタッフは奈良県委託事業
「奈良県就労困難者在宅就業支援事業」において
奈良まほろばソムリエ友の会と連携しています。